

31 高等学校 工業科 (建築) 実技 (問題)

(6枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

- 1 準備された工具を正しく使用し、後の図1～図4を基に木材を加工しなさい。ただし、加工する材は「桁」70 mm × 50 mm × 400 mm, 「束」50 mm × 50 mm × 400 mm, 「梁」50 mm × 50 mm × 700 mm とします。また、後に示した仕様を参考にし、「梁」の長さを「桁」の上端心墨と「束」の側面心墨の間で500 mmとなるようにし、図中の△で指定された箇所を釘打ちしなさい。

使用工具

- ・片刃のこぎり (横びき, 縦びき)
- ・のみ (24 mm, 15 mm)
- ・かんな
- ・さしがね
- ・けびき
- ・スコヤ
- ・墨壺
- ・墨さし
- ・雑巾
- ・げんのう
- ・きり
- ・ポンチ

31 高等学校 工業科 (建築) 実技 (問題)

(6枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

仕様

(1) 墨付け

- ・加工に必要な墨はすべて付け残す。
- ・墨付けは、墨さしを使用する。なお、けびきした上に墨入れを行ってはならない。
- ・芯墨は墨壺で墨打ちとする。また、芯墨以外の部分はさしがねで墨付けしてもよい。
- ・各仕口部分の寸法は、図1～図4のとおりとする。

(2) 加工

- ・材料の木口は、両端を切断して使用する。
- ・仕口及び切断面木口部分には、面取り等の必要な処置を施すものとする。ただし、梁の先端部分は面取りをしなくてもよい。
- ・けびきについては、墨付けの上から加工のために使用してもよい。また、芯出しの際に使用してもよい。

(3) 組立て

- ・加工した材料を組み立てる際に、材料の一部をたたいてつぶし接合しやすくすることはよいが、材料を水にぬらすことは禁止とする。

31 高等学校 工業科 (建築) 実技 (問題)

(6枚のうち3)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

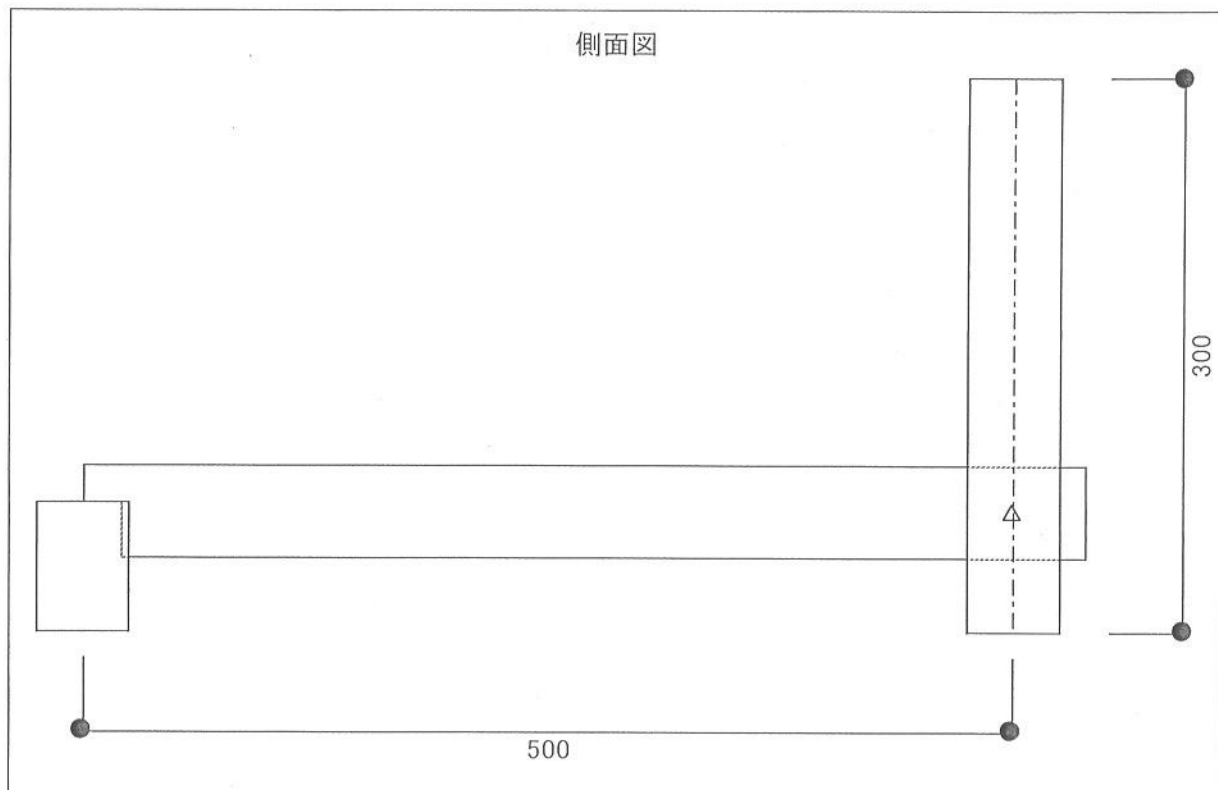


図 1

31 高等学校 工業科 (建築) 実技 (問題)

(6枚のうち4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

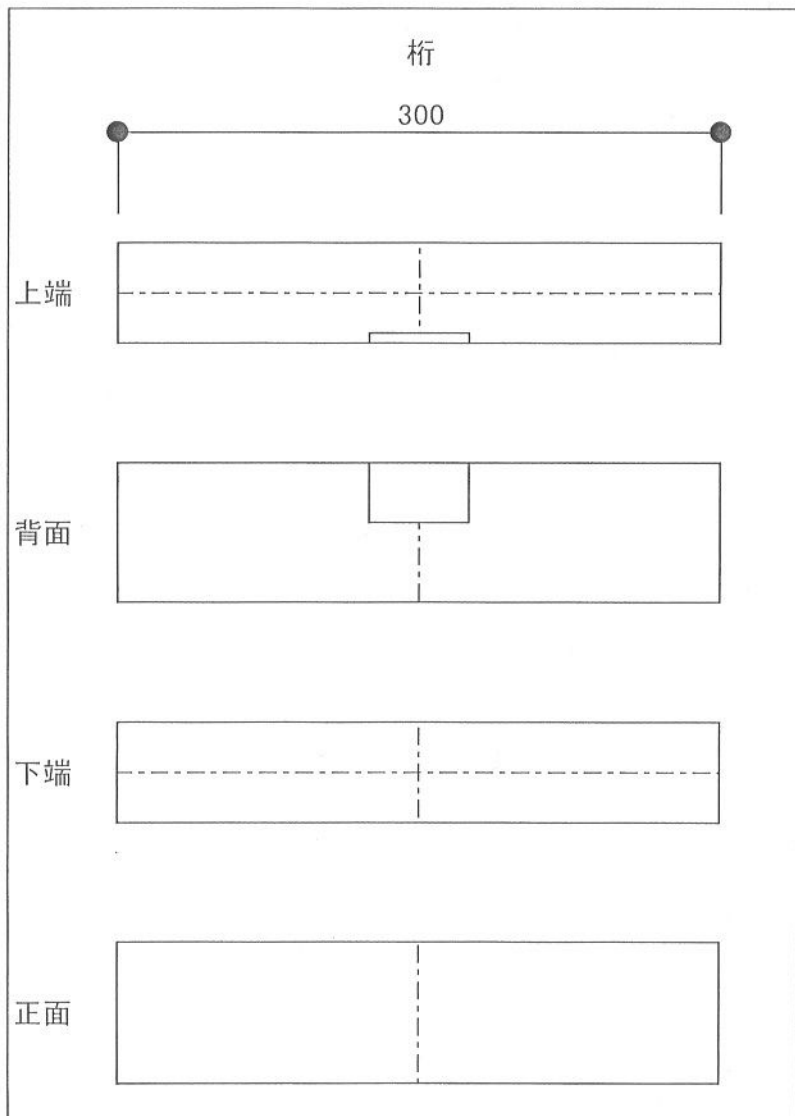


図2

31 高等学校 工業科 (建築) 実技 (問題)

(6枚のうち5)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

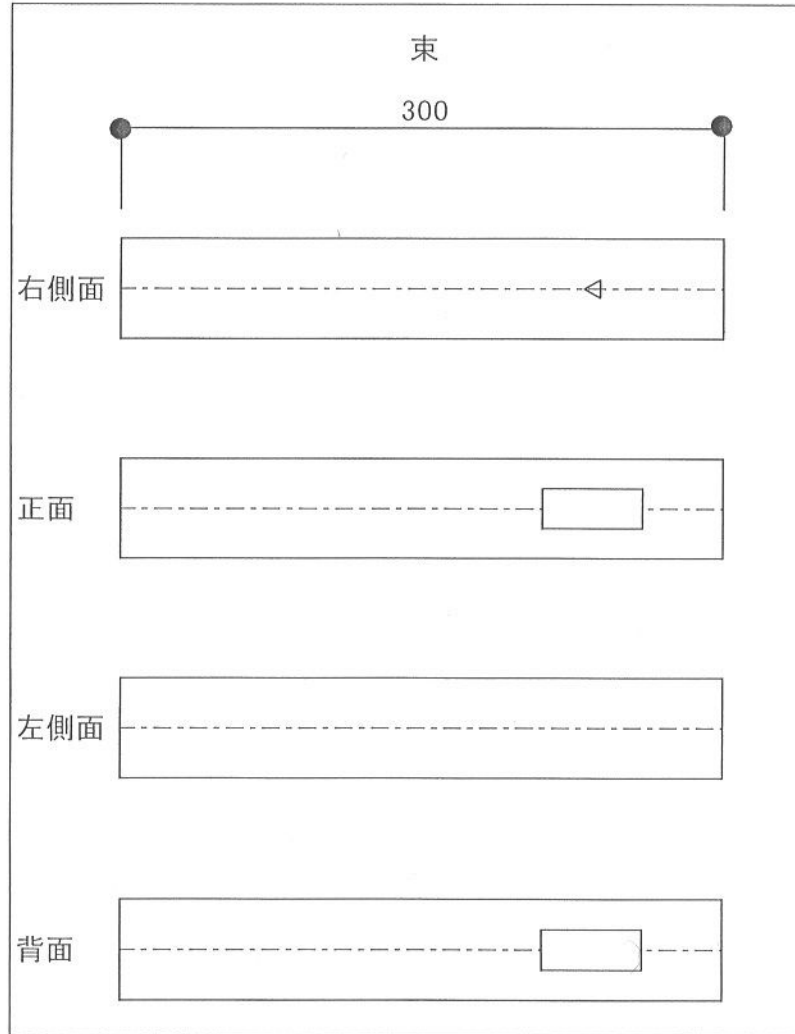


図 3

31 高等学校 工業科 (建築) 実技 (問題)

(6枚のうち6)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

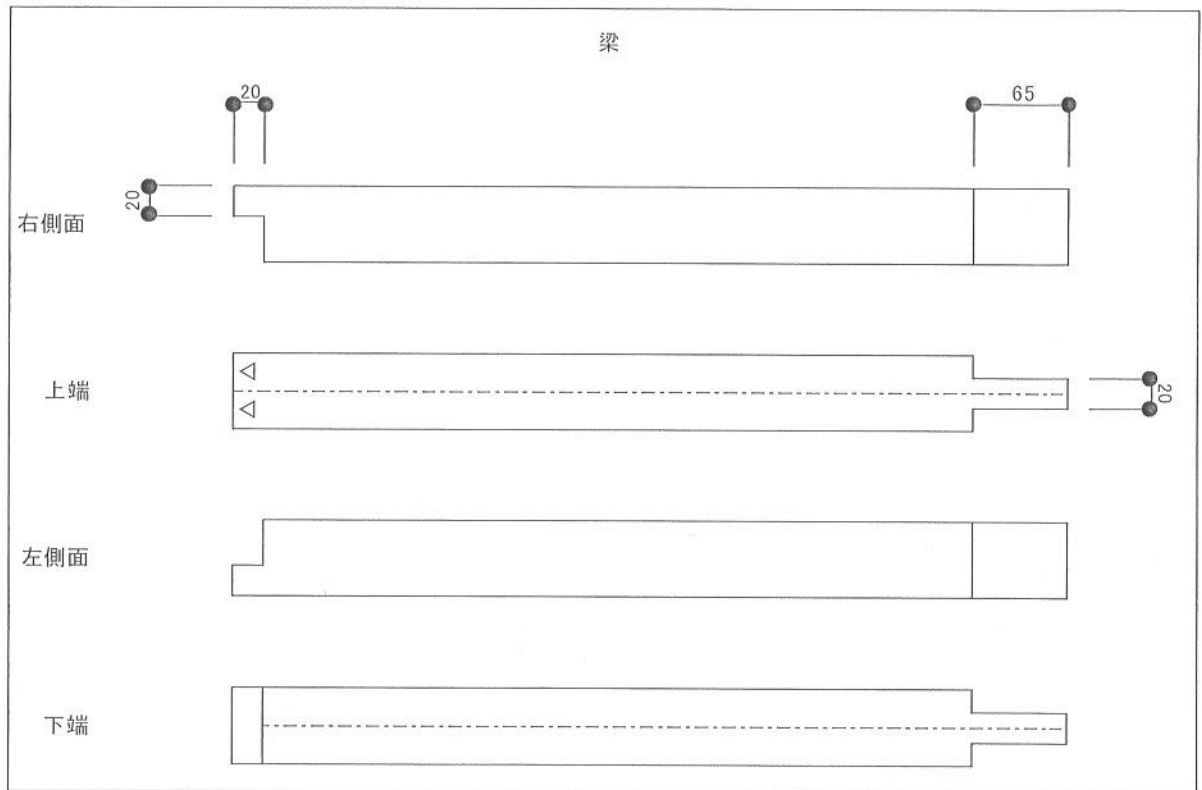


図4